

伊久美小学区地元説明会

日	時	令和5年4月20日（木）	午後7時00分から午後8時44分まで
場	所	伊久身農村環境改善センター	
参	加	者	会場：30人 配信：最大8人同時視聴
説	明	者	萬屋副市長、小松原教育部長、宮崎資産活用課長、鈴木教育総務課長、 村田学校教育課長、亀山校長
司	会	飯田教育総務課総務係長	
優先交渉権者	長谷川 圭介 氏		

1 概要

資料に沿って、「伊久美小学校の跡地利活用」、「伊太小学校、神座小学校、相賀小学校の跡地利活用」、「カリキュラム等検討員会報告」について、事務局側から説明。

2 質疑応答

<閉校後のサタデーオープンスクールについて>

自治会

閉校後も伊久美小学校でサタデーオープンスクールを継続できるのか。

教育総務課長

今後、優先交渉権者との協議で明確になってくると思います。活動自体は継続していくことを基本として考えておりますが、開催する場所については、現時点で決まっておりません。

<審査対象について>

自治会

市として「地域活性化」をどのように想定されているか。また、審査会において提案のどのような点を評価されたか。

教育総務課長

地域貢献やにぎわいの創出を期待できる点、地域に寄り添う姿勢を強く感じた点が評価の対象になったと思われます。

副市長

地域の交流拠点であった学校が閉校した後も、引き続き地域のコミュニティと協働し、地域の振興に役立つことが「地域活性化」であると想定しております。その点においても長谷川氏の提案を審査委員たちが評価をしました。

<長谷川氏と他の提案者との評価の差について>

自治会

優先交渉権者の長谷川氏と他の提案者との評価の差はどのくらいあったのか。

教育総務課長

伊久美小学校の審査会では長谷川氏ともう1つの事業者が手を挙げました。もう1つの事業者につきましては、評価の総得点の6割に満たなかったため、次点者にもなっておりません。

<協定の締結について>

自治会

令和5年度中に優先交渉権者と協定締結とあるが、これは誰と誰が締結するのか。

教育総務課長

順調にいけば、令和5年度中に優先交渉権者の長谷川氏と市が協定を締結する予定です。

自治会

それは、伊久身自治会と関係のないところで締結されるのか。

教育総務課長

今後、優先交渉権者の長谷川氏が地元の方の御協力を得られるように、活動が始まってくると思われます。

<環境問題について>

自治会

騒音などの環境問題について、地域意見を付属条件として協定を締結する用意はあるか。

教育総務課長

地域の皆様のご懸念されている点などについては確認していく必要があると考えております。

自治会

騒音などの環境問題が関係するため、地元も契約に入ってこないといけないのでは。

副市長

学校跡地利活用にとどまらず、仮に地域に騒音を与えるような問題については、市の立場として対応していかなければならないと考えます。以前にも同様の想定による御指摘をいただいておりますので、事前に優先交渉権者の長谷川氏にお伝えしております。

自治会

伊久美小学校のグラウンドはヘリポートなど、地元の防災の拠点である。災害時には、地元には優先権を与えられるのか。

副市長

まず、体育館は避難所としての位置づけがあります。こちらを第一に考えていただくよう優先交渉権者に条件を示しております。長谷川氏からもその前提による事業提案をしていただきました。

自治会

グラウンドには防火水槽があることも承知しているか。

副市長

承知しております。

<災害について>

自治会

昨年の台風15号により道路の陥没や土砂崩れなど被害を受けた。統合後はこどもたちがスクールバスに乗って第一小学校まで片道1時間弱かけて通う。ぜひ安全な道にしていきたい。またこういった説明会を開催していきたい。

副市長

台風15号の翌日に伊久身地区を市長と回らせていただき、被害の状況を目の当たりにしました。安全・安心な道路の確保については市として対応させていただくこととなります。協定を結ぶまでの間で、事業者による事業内容の御説明の場を設けさせていただくことになろうかと思われま。

<迷惑行為の罰則について>

自治会

利用者の迷惑行為などがあつた場合、利用者を罰則すると協定の中に組み込むことはできるか。

副市長

罰則については、運用の規定に関することですので、事業者がご判断されることと思われま。

<活用事業内容について>

自治会

会員制というのは、勝手に誰かが来てキャンプをすることはできないということか。また、地元の力を借りて事業を行うこともあるか。

長谷川氏

会員制ですので、だれでも入れる状態ではなく、契約を結んだ人のみが利用でき、迷惑行為等があつた場合は特定できるようになる想定です。

自治会

迷惑行為があつたその日に利用を禁ずることはできるか。

長谷川氏

常に私やスタッフが常駐していると思われましますので、対応できると想定しております。地元のご協力については、釣りが得意な方がいらっしゃれば、インストラク

ターをやっていただくことや、地元の野菜を販売する場所を校舎で貸し出すなどを想定しており、地元の活性化を考えておりますので、ご理解をいただきたいです。

<会員制について>

自治会

会員制とあるが、何人くらいを想定しているか。

長谷川氏

初年度は200人を想定しております。それ以降の会員数については、提供できるサービスの質などを考慮し調整する予定です。地元の方にご迷惑をおかけしないように事業を行っていきたいと考えております。

<やまゆりの経験について>

自治会

やまゆりの経験を長谷川氏にどのようにご説明をしたか。

副市長

直接長谷川氏にお伝えすることはありませんでしたが、市としては、やまゆりの状況等を念頭に置いて審査をさせていただきました。

<カリキュラム等について>

自治会

適正化検討委員会の際は、私は自治会長として携わらせていただいた。統合された島田第一小学校が島田の教育をリードしていくよう努力されたい。

学校教育課長

教育委員会としても、学校としても、10年後、20年後の未来に地元の課題を解決したり、活躍したりする力を付けてほしいと願っております。そのための授業や教育活動を具体化していきたいと考えております。新校舎では最新の情報機器が搭載されます。そこに子供たちの端末を効果的に活用できればと考えております。また、広い学区になることで、学校にとって大きな財産になります。

亀山校長

ゴールは令和6年4月ではなく、その後子供たちがどう育っていくかが大事だと考えております。統合した後に卒業する子供たちにとって、この経験は貴重な糧になると北部4小学校の校長とも話してきております。

※会場にお越しの方、YouTube視聴者からの質問等については、教育総務課、学校教育課へ連絡をしていただきたいと伝え、閉会。